

自己評価

Table with 4 main columns: 学校運営計画(4月), 評価(総合), 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. Includes sub-sections for 学校運営方針, 昨年度の成果と課題, 指導力向上, 評価の改善, 図書研修, 人権・平和教育, 生涯学習, 生活指導, 生徒会.

学校関係者評価

Table with 2 main columns: 評価(総合), 自己評価は (A: 適切である, B: 概ね適切である, C: やや適切である, D: 不適切である), 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見.

Table with 4 main columns: 評価項目, 具体的目標, 具体的方策, 評価(3月), 次年度の主な課題. Includes sub-sections for 保健, 進路保障, 進学指導, メディア, 広報, 学年, 染織デザイン科, 建築科, 機械工学科, 機械工学科 工業進学コース.

Table with 2 main columns: 項目ごとの評価, 学校関係者評価委員会からの意見.

専門 学科	情報工学科	基本的な生活習慣や自己学習力、課題解決力を身につける教育活動を充実させ、ものづくりや競技会に情熱をもって取り組み、情報社会で活躍する生徒を育成する。	知識の定着や技術を高めるために、情報技術の進展に対応した教材開発を行う。 情報処理技術者試験の指導体制を確立し、合格率15%増を目指す。 情報技術に関する職員研修を年2回行い、技術を伝承し指導力を高める。					
	環境化学科	基本的な生活習慣や自ら学ぶ力を身につけると共に、化学技術者として環境問題に興味関心を持ち自ら課題を見つけ解決できる人材を育成する。	期限厳守や報告・連絡・相談の指導を徹底し、社会人として必要な能力の育成を図る。 自ら考えて学習に取り組む力を育成するために、評価手法を意図した授業改善を積極的に行う。 あらゆる機会を活用して、一人一人が進路実現に向けて意図した行動ができるように組織的な指導体制を整える。					
	電気工学科	生徒が電気技術者として社会に貢献できるように自立心と誇りを持って自己目標が達成できるよう日々の学習活動を充実させる。また、全教育活動を通して、何事にも積極的に取り組むことができる向上心を持つ生徒を育成する。	授業、資格試験、学校行事に積極的に取り組み、自らが進路を決定していく態度を身につけさせる。 資格取得に対する生徒の意欲を高め、科全体で第二種電気工事士試験の合格者を85%以上を目指す。 ものづくりを通して、創造力、技術力、表現力を身につけさせる。					
	都市工学科	土木技術者として、自信と誇りを持ち何事にも主体的に取り組むと共に社会性やコミュニケーション力の発揮できる生徒を育成する。	基礎学力の向上を目指し、聞く力・話す力・考える力の育成を図ると共に、自ら判断し行動できる力を育成する。 学ぶ環境を整え、時間厳守や身だしなみ等、基本的な生活習慣を確立し、社会に貢献できる生徒の育成に当たる。 ものづくりコンテストや資格取得率の向上を目指し、自信を付けさせ、生徒の希望進路を100%実現させる。					
	電子工学科	電子技術者としての専門力を身につけさせるとともに、基本的な生活習慣の定着を図り、心身ともに健康であるための体力や協調性、豊かなコミュニケーション力を育成する。	実習・課題研究において、安全教育と整理整頓の徹底(工具の管理、清掃)を図る。 問題解決能力とコミュニケーション能力及びプレゼンテーション能力を育成する。 特殊無線技士の合格率80%以上、工事担任者60%以上の合格を目指す。					

自己評価及び学校関係者評価を踏まえた今後の改善策

<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
--

評価項目以外のものに関する意見

--